

交流アーク溶接機用電撃防止装置チェッカ

2000年 電設工業展製品コンクール
労働省産業安全研究所長賞受賞製品

VRDC-1（交流アーク溶接機用電撃防止装置チェッカ）

VRDC-2（交流アーク溶接機用電撃防止装置チェッカ用抵抗ユニット）

交流アーク溶接機用電撃防止チェッカは、
交流アーク溶接機を安全に
ご使用いただくために開発しました。
溶接作業での感電事故を防止する
「電撃防止装置」の動作性能を、
簡単にチェックすることができます。

（労働安全衛生規則第332条および第648条により設置が義務づけられている交流アーク溶接機用電撃防止装置の点検に対応します。）



特長

業界初のポケットサイズを実現

外形寸法 (mm): 約175×71×34.5 (測定端子突起部を除く)

重さ: 約300g

設定不要のワンタッチ測定で、3つの項目が測定可能

測定スイッチを押すだけで自動で測定を開始し、デジタル表示で、
判定を行います。

測定項目 ①電源電圧 (0～300V)

②安全電圧 (0～300V)

③始動感度 (150～650)

④遅動時間 (0～1.99秒)

電防チェッカ用抵抗ユニットを使用することで、低中抵抗始動形
の電撃防止装置の測定も可能

標準始動感度が16 以下

性能

保証温湿度範囲: 23 ± 5 80%RH以下 結露がないこと

測定項目	測定範囲	合格判定基準値
電源電圧	0～300V	
安全電圧	0～300V	5V～30V
始動感度 (高抵抗モード)	150～650 (5 ステップ)	210～390 ¹
始動感度 (低中抵抗モード)	0、22	0 動作かつ22 不動作
遅動時間	0～1.99秒	1.5秒以下

¹ 合格判定基準値は、JIS C 9311(2005)には対応していませんので注意してください。

【理由】

JIS C 9311(2005)では始動感度の合格範囲が、定格銘板に表示した値に対して±30%であり、かつ、260 以下となっています。

JIS C 9311(2005)に対応した電撃防止装置をチェックするときは、測定値を読み取り合格判定してください。

測定方法

1 始動感度が高抵抗始動形の場合の測定

スタート

測定リード線を、溶接機の出力電圧側に接続。

溶接機の電源をON。

測定ボタンを押し、測定開始。

自動測定

測定結果表示

総合判定

安全電圧

始動感度

遅動時間

接続方法

